

バッハアンサンブル名古屋

創立40周年記念演奏会

J・S・バッハ ヨハネ受難曲

Johannes-Passion BWV 245

指揮 福音史家 畑 儀文

合唱 管弦楽 バッハアンサンブル名古屋

ソプラノ

小原 美並

アルト

志田 理早

テノール

大久保 亮

イエス

篠部 信宏

バス

森 寿美

コンサートマスター

荻野 美和

チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ

酒井 淳



JOHANN
SEBASTIAN
BACH



2026

4/12 (日)

14:15開場 15:00開演

未就学児のご入場はご遠慮ください。

ウィルあいち ウィルホール

〒461-0016 愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地 TEL.052-962-2511(代)

●地下鉄名城線「名古屋城」2番出口より東へ徒歩約8分

●基幹バス「市役所」東へ徒歩約8分

●市バス幹名駅1「市政資料館南」北へ徒歩約5分

全自由席 一般 2,500円/学生 1,500円

●主催：バッハアンサンブル名古屋 ●後援：愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会

●チケット取扱：愛知県芸術文化センター地下2Fプレイガイド TEL.052-972-0430 ●お問い合わせ：bach.ensemble.nagoya@gmail.com (松波)



指揮・福音史家 畑 儀文

丹波篠山市出身。

オランダ、ドイツ・ライプツィヒに於けるJ.S.Bach作品のソリスト。

シューベルト歌曲全曲演奏完遂。

シューベルト歌曲弾き歌い挑戦中。

大阪バッハ合唱団音楽監督

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば音楽監督



小原 美並 (ソプラノ)

岐阜県多治見市出身。愛知県立芸術大学大学院修了。サントリーホールオペラアカデミー第3期プリマヴェーラコース修了。これまでに加藤三貴子、三崎今日子、野田ヒロ子、天羽明恵、故大下久深子の各氏に師事。多数のオペラにおいて主要キャストで出演。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXVIでは安楽椅子とこうもりのカバーキャストを務める。また宗教曲や第九などのソプラノソリストも多数務める。バッハアンサンブル名古屋ヴォイストレーナー、中日文化センター講師、合唱団ぐりーん・VIVANTchorus代表。



志田 理早 (アルト)

高知県出身。高知大学、東京藝術大学・同大学院修了。在学中より藝大バッハカンタータクラブに所属し研鑽を積み、藝大合唱定期ドヴォルザーク「レクイエム」のソリストに選出。2007年ドイツ留学。バッハや宗教曲のソリストを務める他、ドイツリートや日本歌曲の演奏、発声指導者としての活動も積極的に行っている。



大久保 亮 (テノール)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。ワーグナー楽劇「神々の黄昏」ジークフリート役をはじめ様々なオペラに出演の他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリストをつとめるなど、宗教曲ソリストとして数々のコンサートに出演。現在、愛知県立明和高等学校及び附属中学校非常勤講師。



篠部 信宏 (イエス)

大阪芸術大学大学院修了。卒業時に学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール3位受賞。Max van Egmond氏に師事。宗教曲のソリストを多く務める。2017年ドイツにてバーディシェ新聞紙上にて簡潔で含蓄のあるバスと絶賛される。現在、京都バッハソリスト会所属、日本テレマン協会ソリスト、京都女子大学および大阪芸術大学非常勤講師。



森 寿美 (バス・バリトン)

大阪教育大学卒業。沖縄県立芸術大学大学院、ミュンヘン音楽大学大学院修了。第5回長久手国際声楽オペラコンクール第1位、第79・85回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)入選等。ソリストとして国内外のオーケストラと共演する他、オペラ、宗教曲、ドイツ歌曲など様々な分野で活動している。愛知県立芸術大学准教授。



荻野 美和 (コンサートマスター)

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ザルツブルグ モーツァルテウム音楽院、スイス ルツェルン音楽院。スペイン グロカ国際古楽アカデミー等でも研鑽を積み、現在、バロックヴァイオリンでの演奏を中心に後進の指導も行っている。東海バロックプロジェクトメンバー。

合唱指導：大久保 亮・小原 美並・志田理早
オーケストラ指導：荻野 美和



バッハアンサンブル名古屋 Bach Ensemble Nagoya
ホームページ <http://bachnagoya.sakura.ne.jp/>

バッハアンサンブル名古屋 検索



酒井 淳 (チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ)

チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者 指揮者 パリ国立高等音楽院首席卒業。現在フランス在住 桐朋学園大学特任教授。2025年2月パーセル作曲酒井淳補筆の「ディドとエネアス」をジュネーブ大劇場でE・アイムと酒井淳の2人で指揮をしてセンセーションを起こした。

名古屋を拠点としJ.S.バッハの作品のみを演奏する団体。母体は1986年に結成された“バッハ・アンサンブル・コール”で、2004年、オーケストラ・合唱の一体化を機に現在の“バッハアンサンブル名古屋”に改編。今回は創立から40周年の記念演奏会となる。オーケストラはプロ・アマチュアの混成、合唱はアマチュアが主体で、これまでカンタータ、受難曲等、J.S.バッハの声楽曲を幅広く演奏してきた。現在の常任指揮者は畑儀文。

お問い合わせ

bach.ensemble.nagoya@gmail.com (松波)